

がん征圧・患者支援チャリティイベント

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2026 神戸

ボランティア募集

7.11 (土) 14:00

▶ 12 (日) 9:00

みなとのもり公園
(神戸震災復興記念公園)



響け神戸に! がん患者支援の声と足音

ーリレー・フォー・ライフとはー

がんになっても悩むことなく希望を持って生きることができる社会を確立するためにがんを診断された患者さんとそのご家族の支援や、創薬、治療法開発を目指す研究助成のための寄付を募るチャリティ活動です。

日本では全国約50か所で開催されています。私達と共に、このイベントを盛り上げ、楽しんで参加してみませんか？

●主催：リレー・フォー・ライフ・ジャパン神戸実行委員会 / 公益財団法人日本対がん協会

●後援：厚生労働省 / 兵庫県 / 神戸市 / 兵庫県医師会 / 神戸市医師会 / 兵庫県健康財団 / 兵庫県赤十字血液センター / 兵庫県看護協会 / 兵庫県診療放射線技師会 / 神戸市社会福祉協議会 / 神戸観光局 / ひょうごがん患者連絡会 / コープこうべ / NHK 神戸放送局 / 神戸新聞社 / サンテレビジョン / ラジオ関西

●協賛：神戸信用金庫 / (公財)兵庫県健康財団 / 金川刺繍(株) / (株)かもめ 他各社 *いずれも予定



RELAY FOR LIFE JAPAN 2026 KOBE

2026年7月11日(土) 14時 - 12日(日) 9時 みなとのもり公園

ボランティア大募集

学生・一般



リレー・フォー・ライフとは、がん征圧を目指し、がん患者（サバイバー）やそのご家族達を、励まし支援するイベントで、1985年にアメリカで始まり、世界に広まっている運動です。日本では2007年に始まり、全国約50か所で行われています。

私達と共に、このイベントを盛り上げ、あなた自身もボランティアを楽しんでみませんか？

♪お仕事リスト♪ 作業内容	時間帯①	時間帯②	時間帯③	時間帯④
	9-15時	15-21時	21-翌8時	翌8-12時
a: 会場設営・撤収、小テント組立、机・イス配置等				
b: 受付、ルミナリエ袋記入、フラッグ手型押し			←7時	
c: ルミナリエ（紙灯籠）の設置・点灯・かたづけ				
d: ステージのセッティング				
e: ビデオ、写真の記録				

*注 設営・撤収：作業内容「b～e」の時間帯①、時間帯④の一部には、会場設営・撤収作業が含まれます

■ ボランティア説明会（開場+オンライン）：6月27日(土) 14:00から（詳細は、申込者に通知します）



ボランティア申込

<https://ws.formzu.net/dst/S31430107/>







詳細はこちらから

*お問い合わせ
info@rfl-kobe.org

<ボランティア募集責任団体>

リレー・フォー・ライフ・神戸実行委員会
実行委員長：相川尚子

RFLの起源	使命：Save Lives	寄付金：日本対がん協会を通じて下記の活動に使われます	
<p>1985</p>  <p>1985年、アメリカ・ワシントン州シアトル郊外において、「がん患者は24時間病氣と向き合っている」この思いを共有し、がん患者を支援しようと、一人の医師が24時間走り続け、トラックを1周するたびに友人から寄付を募り2万7千ドルを集めることができました。これが「リレー・フォー・ライフ」の始まりです。彼の名はゴルディー・クラット、マラソンが得意な腫瘍外科医でした。日本では2007年に初めて開催され、今や全国約50か所で開催されるようになりました。「リレー・フォー・ライフ・ジャパン神戸」は2014年から始まり今年で13年目を迎えます。</p>	<p>3つのテーマ</p> <p>Celebrate：祝う</p> <p>がんの告知を乗り越え、今を生きているサバイバーや家族などの支援者を讃え、祝福します。</p> <p>Remember：しのぶ</p> <p>がんで旅立った愛する人をしのび追悼します。また病の痛みや悲しみと向き合っている人々を救います。</p> <p>Fight Back：立ち向かう</p> <p>がんの予防や検診を啓発し、征圧のための寄付を募り、がんで苦しむ人や悲しむ人をなくす社会をつくります。</p>	<p>1・がんの悩み相談</p> <p>看護師や社会福祉士などによる電話相談を無料でお受けしています。</p>  <p>3・若手医師育成支援</p> <p>意欲ある若手医師の、海外での研修費用の一部を助成しています。</p> 	<p>2・プロジェクト未来</p> <p>がんの新しい治療法や新薬開発等の研究費の助成を行っています。</p>  <p>4・がん検診受診率アップ</p> <p>検診の大切さを啓発し、有効ながん検診の受診率の向上を目指しています。</p> 